

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、①政治的リスクの高まり(連立与党内での分裂)、②ルセフ大統領への支持率低下、を主な背景としてレアルがさらに急落。一時3.57台手前までレアル安が進行した(取引は3.53台半ばで終了)。ブラジル下院にて、警察高官・検察官・政府弁護団への給与引き上げ法案が承認(第一次承認であり、上院へ審議を移すには第二次承認も必要)されたことで、財政緊縮策の後退による投資不適格級への格下げリスクに対する警戒感がマーケットにおいて一層強まった。また、法案を巡って連立与党内の分裂が際立ったこともレアルの重石となった。ブラジル民主運動党(PDT)とブラジル労働党(PTB)は、「今後の法案については政府の意見や行動に同調することなく、独立に判断する」との姿勢を提示。連立与党内での合意形成に一段と不透明感が強まったことで、財政緊縮策の進展に大きな影響を与えることが予想される。加えて、ルセフ大統領への支持率低下もレアル売りに拍車をかけている。世論調査会社Datafolhaが公表した調査によると、大統領への支持率は8%(過去最低水準)に過ぎず、実に66%が大統領に対する弾劾を支持した。

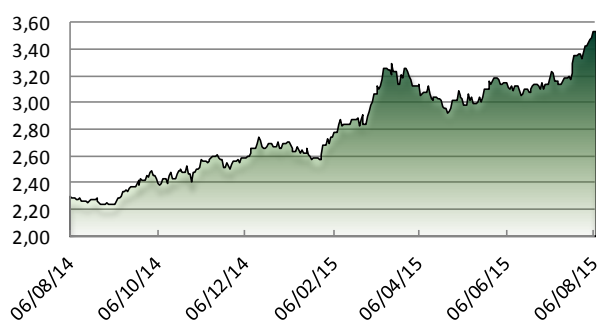
ブラジル中銀は昨日7月28-29日に開催したCOPOMの議事録を公表し、「2016年末までにインフレ率を目標の4.5%に収斂させることは可能」との見解を引き続き示した。

マーケットデータ

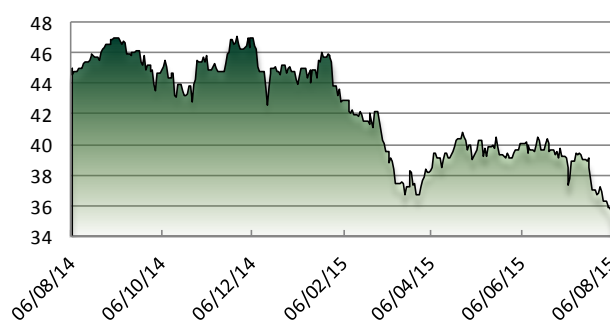
Indicator		Unit	8月5日	8月6日	前日比	7月6日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,4854	3,5356	+0,0502	3,1378	+0,3978
	対円	JPY	35,80	35,28	-0,52	39,06	-3,78
	対ユーロ	BRL	3,8024	3,8626	+0,0602	3,4689	+0,3937
円	対ドル	JPY	124,87	124,74	-0,1300	122,57	+2,1700
	対ユーロ	JPY	136,18	136,28	+0,10	135,52	+0,76
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	50.287	50.011	-276	52.149	-2.138
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	304,2	321,6	+17,4	259,7	+61,9
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	13,34	13,66	+0,32	12,62	+1,04
DI Future Oct16 (金利先物)		%	14,03	14,38	+0,35	14,00	+0,38
3 Months US Dollar Libor		%	0,311	0,311	+0,000	0,284	+0,027
CRB Index (国際商品指数)		Index	199,8	198,5	-1,3	217,9	-19,4

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。